◆管内の概況

▼位置・気候

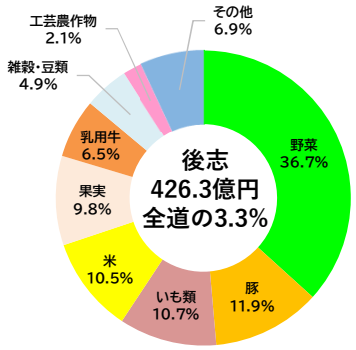
小樽開発建設部が管轄する後志は、北海道の南西部に位置し、北と西は日本海に面し、東は大都市札幌、南部は渡島半島に接しています。気候は、春から夏にかけて温暖で晴天の日が多く、過ごしやすい地域ですが、秋から冬にかけては北西の季節風の影響を受け、風雪が強く、特に羊蹄山麓は道内屈指の豪雪地帯です。

▼後志の『食』

管内の農業は、野菜、果樹、酪農など幅広い分野の生産が行われ、「北海道農業の縮図」と呼ばれるほど、農家の経営形態は多岐にわたっています。近年は、醸造用ぶどうの作付けが増加しており、３０のワイナリーが開設されています（令和７年２月現在）。

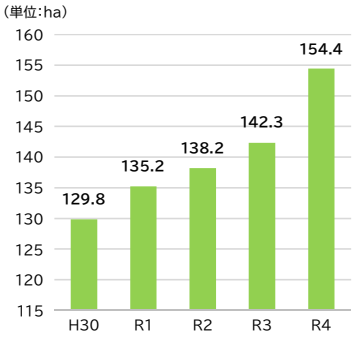
管内の漁業は、かつては、にしん、現在は、たら、ほっけ、うに等の漁獲に支えられています。また、安定した資源の維持増大を図るため、さけ、にしん等の種苗放流により、つくり育てる漁業の取組が進められています。

●後志の農業産出額の内訳(R3)



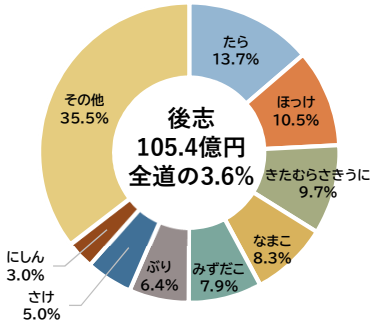
出典：後志の農業2024（北海道後志総合振興局）

●後志の醸造用ぶどう栽培面積



出典：北海道後志総合振興局農務課

●後志の漁業生産高魚種別構成(R5)



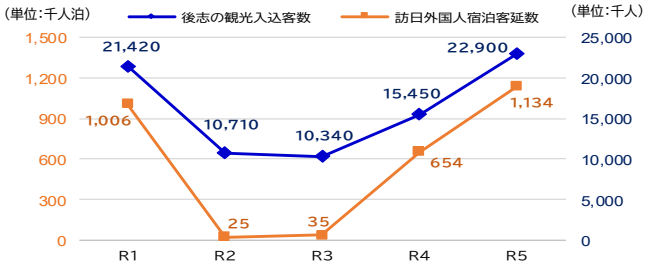
出典：令和5年 北海道水産現勢(北海道水産林務部)

▼後志の『観光』

管内は、国内外からの多くの観光客が訪れる北海道を代表する観光エリアです（R５年度：２,２９０万人）。

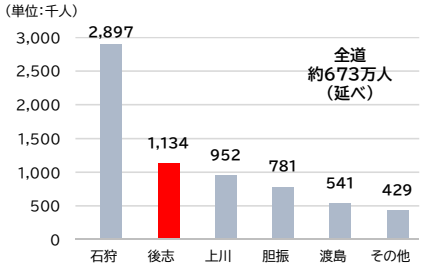
世界有数のスキーリゾート地であるニセコエリアを中心に、アジア圏のほか、オーストラリアや欧米からの多くの宿泊客で賑わいます。

●後志の観光入込客数及び訪日外国人宿泊客延数

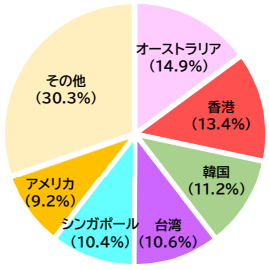


出典：令和5年度 後志総合振興局管内観光入込客数の概要（北海道後志総合振興局）

●訪日外国人宿泊客（延べ人数）（R5年度）



●後志の訪日外国人宿泊客（国別の状況）（R5年度）



出典：令和5年度 北海道観光入込客数調査報告書（北海道経済部）